

地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰

三重県の受賞団体及び受賞者の概要

1 団体表彰

(1) 市町

自らの創意工夫により、優れた施策を実施し、地方自治の充実発展に寄与した市町

尾鷲市	豊かな水産資源を生かし、地域おこし協力隊などの外部人材を積極的に活用しながら、「食」をテーマとした地域ブランド化を通じたまちづくりを進めている。
いなべ市	行政サービスの質向上・満足度向上等を目指した市事業のブランド認定を通じ、健康増進や子育てなどの施策分野のほか、文書管理や電子行政において積極的な取り組みを進めている。
紀宝町	紀伊半島大水害での甚大な被害を教訓に、事前防災行動計画（タイムライン）を全国に先駆けて作成し、災害対策の強化に取り組むとともに、近隣市町と連携した医療サービスの提供等により、住民の安全・安心の確保に努めている。

(2) 民間団体等

都道府県及び市町村の行政に積極的に参画し又はコミュニティづくりに熱心に取り組んでいる民間団体、住民自治組織等

波瀬むらづくり協議会	児童数減少により休校となった小学校の校舎を活用して子どもたちに自然体験学習を行うことで、落ち込んでいる林業の後継者育成活動に寄与している。
(有) せいわの里	農業後継者不足解消のため、農産物加工品の製造販売、地産地消や豊かな農村資源の掘りおこしと技術の伝承に取り組み、後継者育成に寄与している。
田光資源と環境を守る会	営農活動等の推進により、住民が地元の豊かな資源を知り、それを守る活動を通じて、地域のほとんどの住民が積極的に共同作業を行うなど住民の地域への深い愛着心向上、後継者育成に寄与している。

2 個人表彰

(1) 地方公共団体の議会の議員及び職員

- ア 公務に精励し、優れた行政施策あるいは技術開発を発案した者又はその推進に中心的役割を果たすことにより、当該団体等の自治行政に発展をもたらした者
- イ コミュニティの育成に努めた者で、特に功績顕著な者

谷口 友見 (78)	大紀町	現 大紀町長	7期23年にわたり紀勢町長及び大紀町長として、防災対策等、様々な行政課題に積極的に取り組むとともに、三重県町村会会長、全国町村会会長代行として、力強いリーダーシップの下、地方自治の発展に貢献してきた。
---------------	-----	--------	--

亀井 利克 (65)	名張市	現 名張市長	3期10年の三重県議会議員を経て、名張市長として4期15年、住民自治の確立と福祉・教育の包括的な支援による地域づくりに取り組むほか、全国でも医療福祉や地方創生の分野で尽力してきた。
飯田 徳昭 (80)	朝日町	現 朝日町議会議長	16年にわたり朝日町議会議長として円滑な議会運営を通じて住民福祉の向上に寄与するとともに、県町村議会議長会会長、全国町村議会議長会会長として、県内・全国の町村議会の活性化に寄与してきた。

※年齢は平成29年11月20日現在

(2) 地方自治の功労者

- ア 公共の福祉を増進するため、継続的に私財を投じて寄付を行う等一身の利益をかえりみず、地方公共の利益のため多大の貢献をした民間人
- イ 地方行政の分野において自ら進んで献身的な努力をほらい、地方公共の利益のため多大な貢献をした民間人
- ウ 地方公共団体の各種審議会委員等に在職し、地方自治の発展に多大の貢献をした民間人
- エ 地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動に積極的に携わり、地域の発展に多大の貢献をした民間人（移住者や地域おこし協力隊関係者などの民間人を含む）

江崎 貴久 (43)	鳥羽市	現 鳥羽市エコツーリズム推進協議会会長	エコツアー主催に留まらず、ツアーから得た収益の一部を漁協への寄附や子供たちの事業へ還元し、持続可能な仕組みづくりに寄与している。
高橋 幸照 (61)	多気町	現 多気町勢和地域資源保全・活用協議会事務局長	農業離れの危機を前に、歴史ある立梅用水の価値を見直し、地域のボランティア等との協働により、地域資源の保全と有効活用に寄与している。

※年齢は平成29年11月20日現在